

第 15 回 Re-Seed セミナー

「新たな不動産投資機会の創造

～不動産投資を活性化する先導的取組と最新動向～

D-3 活発化する物流投資の開発・取引

～ 物流施設マーケットの動向と価格・賃料について ～

■開催日時：2017.2.17（金）15：00～17：00

■講師：一般財団法人 日本不動産研究所 証券化部

専門役、インダストリアル専門チーム チーフ 奥村 祥平 氏

<略 歴> 同志社大学法学部法律学科卒。平成 13 年 準大手デベロッパーに入社後、平成 18 年 日本不動産研究所に入所。

山口支所、広島支所、東京事業部（現本社事業部）を経て現職。インダストリアルチームに所属し、物流系、

発電施設、データセンターのクライアントを中心に評価分析業務を担当。不動産鑑定士

■講座概要：Eコマースの普及・拡大とともに、耐震性能に優れた大規模な物流施設の整備が急速に進められています。賃料上昇も続いており、2015 年度の物流施設の整備・建設は過去最高水準だったと言われております。また、物流施設は、東京臨海部のみならず、郊外や地方都市でも進められており、地方経済の活性化にも寄与しているところです。将来的にも、消費者がインターネット経由で商品を購入する傾向が鈍化するとは考えられず、物流施設の需要も順調に拡大することが期待されるところです。そこで、今回のセミナーでは、過熱気味の物流施設について、足下の整備状況を踏まえつつ、中長期的な需要・供給動向や、不動産投資としての物流施設の魅力とリスクを解説していただきました。

